

平成27年度 点検結果一覧表

橋梁番号	7桁ナ橋梁名	路線種別	路線名称	年代		橋長(m)	上部工		主な点検方法	第三者被害の可能性	前回点検(西暦)	橋梁の健全度区分		損傷の判定																備考						
				架設年(西暦)	経過年		材料	形式				国区分	決定部材	主構造						床版		下部工			支承部				路上			その他				
														主桁	縦桁	横桁	横構	対傾構	その他の主鋼材	床版	橋台	橋脚	支承部	脊座モルタル	台座コンクリート	落橋防止システム	高欄防護柵	地覆	伸縮装置		舗装	排水溝	排水管			
																																		健全度区分	健全度区分	健全度区分
1	9	0	ホリワリバシ堀割橋	一級	杉谷内藤寄線	S 33 1958 59	32.0	コンクリート橋 PC床版橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C1 II	主桁	対策判定区分 健全度自動判定 健全度技術者	S 6 S C1							C 8 C1 C1	C 6.7.8.12 C1 C1	M 24 M M					M 4 M C2	B 6 B1 B1	B 20 B1 B1	A - A A	M 24 M M	M 1.23 M M	M判定 支承:24, 防護柵:4, 17, 23, 排水溝:24, 排水管:1, 23 S判定 主桁:6	
2	56	0	サンガオオハシ三賀大橋	二級	三賀新発田線	H 9 1997 18	54.6	コンクリート橋 PCT桁橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	B1 I	主桁	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	B 8 B1 B1		B 8 B1 B1					B 8 B1 B1	C 12 C1 B1	B 20 B1 B1	A - A A	A - B1 B1		B 1 A A	B 8.12.23 B1 B1	B 20.23 B1 B1	A - A A	M 24 M M	M 4 M M	M判定 排水溝:24, 排水管:4		
3	58	0	フジヨセバシ藤寄橋	二級	藤寄山興野線	S 62 1987 28	35.9	コンクリート橋 PCT桁橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C1 II	主桁	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	S 6,18 S C1		B 8 B1 B1					B 8 B1 B1	B 20 M M		M 24 A A	A - A A		A - A A	B 23 B1 B1	B 20.23 B1 B1	A - A A	M 24 M M	A - A A	M判定 横桁:17, 支承:24, 橋台:17, 排水溝:24 S判定 主桁:6, 18		
4	88	0	ジンゴロウバシ仁五郎橋	その他	藤寄仁五郎橋線	S 52 1977 38	36.1	コンクリート橋 PC床版橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C1 II	橋脚	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	S 6 S C1							B 20 B2 B2	C 1.5 C1 C1	M 24 M M				M 3.23 M M	M 7 M M	B 20 B1 B1	M 15 M M	M 1.24 M M	M 1.23 M M	M判定 橋脚:17, 支承:24, 防護柵:3, 23, 地覆:7, 舗装:15, 排水溝:1, 24, 排水溝:1, 23 S判定 主桁:6		
5	110	0	ミヤマエバシ宮前橋	その他	藤寄宮前線	S 33 1958 57	30.1	コンクリート橋 PC床版橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C3 III	下部工	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	C 12 C1 C1							S 6 S C3	S 6 S C3	M 24 M M					B 1.5 B1 C1	M 7 M M	M 24 M M	M 15 M M	M 24 M M	M 1.23 M M	M判定 支承:24, 高欄:17, 23, 地覆:7, 伸縮装置:24, 舗装:15, 排水溝:24, 排水溝:1, 23 S判定 橋台:6, 橋脚:6	
6	171	0	ヒガシコウセンハチゴウキョウ東港線8号橋	その他	東港2号線		35.7	鋼橋 桁橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C2 III	主桁	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	C 1.3.5 C1 C2		B 1.5 C1 C2					C 11 C1 C1	B 20.23 B2 B2	C 5 C1 C1	C 1.5 C1 C1				M 1.23 M M	B 23 B1 B1	S 13 S C1	M 15,17 M M	M 24 M M	B 1.5 B1 B1	M判定 橋脚:17, 支承:24, 防護柵:1, 23, 伸縮装置:24, 舗装:15, 17, 排水溝:24 S判定 伸縮装置:13	
7	174	0	ダイブコウヤバシ大夫興野橋	一級	蓮野藤寄線	S 61 1986 29	93.2	鋼橋 桁橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C1 II	主桁	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	C 5 C1 C1		B 1.5 C1 C1	C 1.5 C1 C1	C 1.5 C1 C1			C 7.8.11 C1 C1	B 6.8.20 B1 B1	B 6.20 B1 C1	C 1 C1 C1	C 23 C1 C1		B 1 B1 B1	M 23 M M	A - A A	S 13 S C1	A - A A	M 24 M M	M 1 M M	M判定 支承:24, 防護柵:23, 伸縮装置:24, 排水溝:24, 排水溝:1 S判定 伸縮装置:13	
8	189	0	ハナレヤマバシ離山橋	その他	二本松大夫興野線	H 2 1989 26	112.5	鋼橋 桁橋	橋梁点検車	無	H 21 2009	C1 II	主桁	対策判定区分 健全度区分 健全度技術者	C 5 C1 C1		B 1.5 C1 C1	B 1.5 C1 C1	B 1.5 C1 C1			C 7.11 C1 C1	C 12 C1 C1	B 6.20 B1 B1	M 24 M M	B 6 B1 B1		B 1 B1 B1	A - A A	M 8 M M	M 1.24 M M	A - A A	A - A A	B 1.5 B1 B1	M判定 地覆:8, 支承:24, 伸縮装置:1, 24	
9														対策判定区分 健全度区分 健全度技術者																						
10														対策判定区分 健全度区分 健全度技術者																						

※健全度区分の抽出における優先順位はE→S→C3→C2→C1→M→B2→B1→Aとしている。

損傷番号	損傷種類	損傷番号	損傷種類	損傷番号	損傷種類
1	腐食	16	支承機能障害	27	表面被覆材の劣化
2	亀裂	18	定着部の異常	28	ひびわれ補修部の再ひびわれ
3	ゆるみ・脱落	19	変色・劣化	29	床版の再ひびわれ
4	破断	20	漏水・滞水	30	断面修復部のうき
5	防食機能の劣化	21	異常な音・振動	31	断面修復部の剥離・鉄筋露出
6	ひびわれ(発生パターン記録)	22	異常なたわみ	32	外ケーブルの劣化
7	剥離・鉄筋露出	23	変形・欠損	33	部分塗装部位の腐食
8	漏水・遊離石灰	24	土砂詰り	34	部分塗装部位の防食機能の劣化
9	抜け落ち	25	沈下・移動・傾斜	35	電気防食の劣化
10	コンクリート補強材の損傷	26	洗掘	36	脱塩を実施したコンクリート部材の再劣化
11	床版ひびわれ				
12	うき				
13	遊間の異常				
14	路面の凹凸				
15	舗装の異常				

対策判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、軽微で補修を行う必要性がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C	速やかに補修等を行う必要がある。
E	橋梁構造の安全性の観点等から、緊急対応の必要がある。
M	維持工事に対応する必要がある。
S	詳細調査の必要がある。

健全度区分	健全度区分の定義	国区分
A	損傷がなく、建設当時の性能を保持している状態	I
B1	損傷があるが、性能の低下はほとんどない状態	I
B2	損傷があり、軽微な性能の低下がある状態	II
C1	損傷があり、性能の低下が懸念される状態	II
C2	損傷が著しく、性能の低下が顕著な状態	III
C3	性能の低下が著しく、早期の劣化進行が危惧される状態	III
E	落橋の危険が想定される状態。安全性の観点から緊急的に対策が必要な状態	IV